

地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	◎	農・林・水産業	○
	地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	○
	地域コミュニティ・集落再生	◎	環境	○
	地域交通・情報通信		まちづくり	○
ふりがな		さいとう としゆき		
氏名		斉藤 俊幸		
所属	名称	イング総合計画株式会社		
	役職	代表取締役		
連絡	住所 (職場)	〒 - -		
	連絡先	e-mail	mike[アットマーク]zofrex.co.jp	
		TEL -	FAX -	
	連絡方法	E-Mailでお願いします		
略歴	<p>1980 年 コスタリカ国工業省にて工業振興計画従事(米州開発銀行 IDB)</p> <p>1982 年～ イング総合計画株式会社設立代表取締役に就任、現在に至る</p> <p>2003 年～ 地域再生マネージャー(ふるさと財団)</p> <p>2007 年～ 地域活性化伝道師(内閣官房)</p> <p>2009 年～ 地域経営の達人(総務省)</p> <p>2010 年～ 地域力創造アドバイザー(総務省)</p> <p>2020 年～ 地域活性化センターシニアフェロー</p> <p>2022 年 高知工科大学大学院工学研究科基盤工学専攻博士後期課程修了 博士(学術)</p> <p>買い物難民の存在を問題提起、地域おこし協力隊や地域活性化伝道師制度化のモデルとなった。生産者の組織化、加工者の組織化、販売者の組織化を進め内発型雇用創造のモデルを作った。</p>			
著作・論文等	<p>地域活性化の課題構造の解明―畜産を事例として 博士(学術) (高知工科大学大学院工学研究科基盤工学専攻/2022 年)</p> <p>限界集落の経営学(学芸出版社/2024 年)</p> <p>地域活性化未来戦略(ぎょうせい/共著/2024 年)</p> <p>知られざる日本の地域力(今井印刷/共著/2014 年)</p>			
取組概要	<p>危機に直面する地域集落、農村 RMO 等の活力ある地域ビジネスを支援。ウイスキー、ワイン、米焼酎等の酒類の起業支援を行っている。合同会社ねっか(福島県只見町)の米焼酎、分散型自律組織 DAO を使って関係人口の出資を仰ぎワイナリーをつくるぐんま山育 DAO(群馬県北毛地域)を支援中である。</p>			



※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

メッセージ	<p>地域運営組織協議会会長は「もうかる事業がない。地域運営組織はどこも継続が厳しいだろう。いつか切れる補助金頼みでは生き残れない」と話している。日本では足し算の支援とは寄り添い型支援であり、掛け算の支援とは事業導入型支援のことである。掛け算の支援(事業導入型支援)⇒地域力がマイナスの時に事業導入(掛け算)するのではなく、まずは地道な寄り添い支援(足し算)を行うことが大切であるとの定説があったが、農水省では「かけ算(新結合)」による農林水産イノベーションの実現を目指す「農水省地域みらい戦略」(2024 年)が策定された。経営学者のマーチ(カーネギー学派)はイノベーションが枯渇するとコンピデンシートラップ(自己破壊)を起こすことを定義。集落は人口が減少して消滅するのではなくイノベーションが枯渇して自己破壊する。地域イノベーションは重要である。</p>
関連ホームページ	https://zofrex.co.jp/
活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。